

会報

無肥研だより

第3号

2018年1月15日 発行



「無肥研だより」第3号をお届けいたします。今回は、2017年11月19日に開催いたしました無施肥無農薬栽培農産展についてご報告をさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

★ 活動報告

無施肥無農薬栽培農産展 (2017年11月19日)

近年、天候の不順が続いておりますが、今年も長雨と日照不足に悩まされた秋となりました。特に東日本では大変であったとのこと、お察し申し上げます。そのような気候にもかかわらず、北は北海道から、南は九州にいたる各地から、団体を含む56の生産者の皆様から、丹精を込めて作られた無施肥無農薬栽培（以下「無施肥栽培」という）による農産物248点の出品を頂きました。ただ、例年に比べると葉物野菜が少し減ったのは残念でした。

1. 農産展

会場では作物の展示に合わせて、無施肥栽培の桑による養蚕コーナーやパネル・映像を通じて、全国の実施者の紹介、通信制高校生や海外からの留学生等の農業体験、会員・一般の方を対象とした圃場見学会、今年度の各種調査の中間報告等、日頃の活動紹介をさせて頂きました。販売コーナーは、無施肥栽培のお米、野菜類や果物に加え、お茶、お酒、クッキーなどの加工品の販売もあり、多くの方で賑わいました。当日は、天候にも恵まれ約400人の方々にご来場を頂きました。なかには京都の秋を楽しんでおられる通りすがりの観光客の方など、一般の方も多くご来場頂きました。



2. 講演会

講演会は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の上西良廣様をお迎えして、「無施肥無農薬栽培の生産実態と今後のさらなる普及に向けて」と題するご講演を頂きました。上西様は滋賀県の3人の生産者を例にとって、研究者という立場からそれぞれの生産の実態と販路の確保や、価格設定の重要性に加えて販売促進のための宣伝活動の必要性についてもお話をして下さいました。終了後は生産者、流通関係者から、現在の取り組みの紹介や、

今後の方向等についての質問が、また、消費者の方からは無施肥栽培の作物がもっと市場に出て買い求めやすくなるようにとのご要望を頂きました。



3. 試食懇親会

試食懇親会は、会員・非会員合わせて74名のご参加を頂くことができました。生産者・流通関係者・消費者の皆様が一堂に会して、白岩理事長や上西良廣様と共に、無施肥無農薬栽培作物による料理を味わいながら、楽しいひとときを過ごすことができました。今回は北海道・愛媛県・奈良県・兵庫県からも生産者の方にご参加いただきました。来年は、もっと多くの方々の参加を頂きまして、活動の輪がさらに広がることを願っております。皆様ありがとうございました。



★ 今後の行事予定

総会・研究報告会・懇親会 (2018年3月18日(日))



無肥研会員の皆様にご出席いただき、当会の前年度の活動結果並びにその結果を踏まえた次年度の事業計画や活動予算、役員を選任等を話し合わせていただく**会員総会**と、どなたでもご参加いただける、当会の事業の柱であります無施肥栽培の調査研究の成果をご報告させていただく**研究報告会**、そして皆様の意見交換の場としての**懇親会**を、3月18日に開催します。詳細は決まり次第、お知らせしますので奮ってご参加ください。

昨年**の研究報告会**では、無肥研や京都大学大学院農学研究科などの6名の研究者から、無施肥栽培に関連した研究や調査の結果が報告され、無施肥栽培の特徴、無施肥栽培に適した栽培法、そして無施肥栽培がこれからの持続的農業や地球環境に与える影響などが論じられました。その後の**懇親会**でも会場に多くの話し合いの輪ができ、報告会の延長戦の如く、盛んに情報交換が行われていました。無施肥栽培はまだほとんど研究や調査が詳細に行われていない分野でもあり、これから調査していく内容などについても、話合われている姿もみられ、今後の発展が期待される集いになりました。



2016年度研究報告会

会報についてのご意見を、郵便、FAX、e-mailでお寄せ下さい。皆様のお力で会報を充実させていきたいと存じますので、ご協力のほどお願い申し上げます。(編集担当)

〒606-8311 京都市左京区吉田神楽岡町106-2

特定非営利活動法人 無施肥無農薬栽培調査研究会

e-mail : mail@muhiken.or.jp FAX : 075-751-0368

URL : <http://muhiken.or.jp/wp/> Facebook : <https://www.facebook.com/muhiken/>